

広島アクターズラボ
五色劇場 演劇公演

新 平 和

作・演出・構成

柳沼昭徳
(烏丸ストロークロック)

作・出演・スタッフ

池田あい

後白早智子

坂田光平

中島由美子

深海哲哉

藤井友紀

山田めい

東 圭香

上山耕平

長澤拓真

川村祥太

2020年に広島は原爆投下75年を迎えます。広島アクターズラボでは「演劇の手法を使ってヒロシマを継承できないだろうか」と考え3年をかけ原爆を演劇で素描する【ヒロシマデッサン】に取り組んできました。本公演となる今年は、中島地区で生まれ育った架空の原爆体験者「山本チエ子」を中心に、原爆投下後から現在に至るまでの広島を描きました。チエ子を巡るエピソードは、俳優それぞれが被爆体験者を自ら探し訪ね、関係を作ることから始め、彼らとの「日常会話」を通して語られる被爆体験を1年間かけて取材し、構成しました。彼らの日常の人生の一片を、チエ子を通して「異化」することで、過去、現在、そしてヒロシマの未来を描きます。

広島アクターズラボと「五色劇場」の 取り組みについて

2016年6月より舞台芸術制作室 無色透明の主催事業としてスタートしました。広島で継続的に演劇について研究し、ディスカッションとトレーニングを行うことを目的としています。京都より柳沼昭徳氏を講師に迎え、毎月2日間の講師による稽古とそれに伴う自主稽古を不定期で行い、基礎を鍛え、心技の備わった俳優を志すために集まったメンバーが、公演を行うに際し結成した劇団が「五色劇場」です。

広島平和記念公園発掘調査における都市の重層構造の考察 (広島平和記念資料館所蔵)

柳沼昭徳プロフィール 烏丸ストロークロック代表。近畿大学在学中の1999年に「烏丸ストロークロック」を旗揚げ。社会の抱える不全と、それが及ぼす人々への影響を描く。近年は各地で演劇ワークショップや市民参加型の創作も多く手がけている。広島での活動としてアクターズラボの講師のほか、障害者のアートサポートを行っている認定NPO法人ひゅーるのぼん主催による舞台芸術事業、「広場に集まった仲間たちによる演劇公演」の脚本執筆を手掛けており、大きな反響を呼んでいる。第60回岸田國士戯曲賞ノミネート/OMS戯曲賞ノミネート多数、平成28年度京都市芸術新人賞受賞

日時:2019年

6月28日(金)
19:00

29日(土)
13:00*/19:00

30日(日)
13:00/17:00

※開場は開演の30分前

★終演後アフタートークあり ゲスト:鈴木美恵子(NPO法人シアターネットワークえひめ理事)

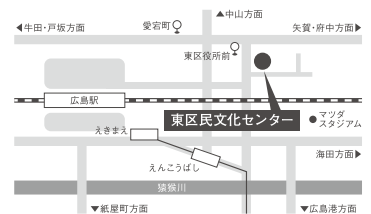
6月29日(土)13:00の回につき、専門スタッフによる託児サービスをご用意しております。(500円・要予約)ご希望のお客様はご予約の際に無色透明の方にお申し出ください。

会場:

広島市東区民文化センター
スタジオ2

〒732-0055 広島市東区東蟹屋町10-31
TEL082-264-5551

JR広島駅新幹線口より徒歩東へ約900m
[東区役所前]バス停下車、道路向い



チケット料金

一般前売 2,500円 25歳以下前売 2,000円 高校生以下前売 1,000円
(当日3,000円) (当日2,500円) (当日1,500円)

チケット取り扱い

- ・舞台芸術制作室 無色透明ホームページ チケット申込フォーム <https://www.goshikigekijo.com/>
- ・広島市東区民文化センターホームページ <http://www.cf.city.hiroshima.jp/higashi-cs/>
- ・広島市東区民文化センター窓口(9:00~21:00 祝日を除く月曜休館)



お問合せ メール a.p.musyokutoumei@gmail.com(舞台芸術制作室 無色透明)
TEL082-264-5551(広島市東区民文化センター)

舞台監督:北方こだち

照明:佐々木正和

プロデューサー:岩崎さえ(舞台芸術制作室 無色透明)

イラスト:芦田なつみ

宣伝美術:橋本デザイン室

主催:舞台芸術制作室 無色透明、広島市東区民文化センター

協力:烏丸ストロークロック、広島大学原爆放射線医学研究所附属被ばく資料調査解析部、NPO法人子どもコミュニティネットひろしま、変劇団、コムたんたん、グンジョーブタイ
後援:広島市教育委員会、中国新聞社、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、ちゅピCOMひろしま、FMちゅーピー76.6MHz
助成:芸術文化振興基金

東区民文化センター
舞台芸術促進事業
この街での文化活動を応援しています



舞台芸術
制作室
無色透明

芸術文化振興基金助成事業

